

工業用 電動式クリーナー

取扱説明書

■ EVC-550



※ペール缶は別売です。

もくじ

1 ~ 7	安全上の注意
8	仕様
9 ~ 10	各部の名称と付属品
11 ~ 14	ご使用方法
15	お手入れ
16	保守・点検
17 ~ 18	保証・アフターサービス

1.安全上の注意

この取扱説明書には、正しく安全にご使用いただくための注意事項が記載されています。ご使用になる前に必ず本書をお読みになり、使用方法を理解してから正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の度合いを明らかにするために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、『危険』・『警告』・『注意』の3つに区分しています。

しかし、『注意』の欄に記載した内容でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

取扱説明書は大切に保管し、何時でも見られるようにしておいてください。



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う危険が切迫して生じる事が想定される内容を示します。



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します。



誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

絵表示の例



この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意事項が描かれているものもあります。



この記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な注意事項が描かれています。

製品仕様への注意事項

注意



決められた製品仕様以外で使用しない。
*漏電・感電・火災・水漏れなどの原因になります。

工業用クリーナーの為、一般家庭では使用しない。

搬入・移動上の注意事項

注意



人手により運搬や持ち上げる際は、腰だけをかがめず膝も曲げて持ち上げるようにする。

*腰を痛める原因になります。

取扱責任者が変わった場合は本書をクリーナーに添付するか、譲渡してください。

本書を紛失、損傷した場合には当社または、販売店に発注してください。

試運転・運転の際の注意事項

危険



液に被爆(誤って飲用した、皮膚に接触した等)した時は、液の取扱説明書に従い、適切な処置を行うか、医師の診断を受けてください。



アースを確実に取付け、漏電ブレーカー(別売・電気製品取扱店でお求めください)を使用する。

*故障や漏電、静電気が発生したときに感電する恐れがあります。



灯油・ガソリン等、第一石油類、溶剤、薬品等や、その他引火性のもの、爆発の恐れのあるものを吸引したり、それらの近くで使用しない。

***爆発したり、火災の原因になります。**

アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・化学物質などの爆発性粉塵、ガス・蒸気などを吸引したり、それらの近くや雰囲気内で使用しない。

***爆発したり、火災の原因になります。**



火気に近づけない。

***本機が変形する恐れがあり、ショートして発火することがあります。**



使用中、体調が悪くなったときは、すぐに医師の診断を受ける。



定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する。

***他の器具とコンセントを併用したり、電源回路の許容電流が合わないと、分岐コンセント部が異常発熱・発火することがあります。**



濡れた手で、電源プラグやスイッチ、配線などの電気まわりに触らない。

***感電やケガの恐れがあります。**



本機に水や油をかけたり、雨水のかかる場所で使用しない。

***ショートや感電、火災の原因になります。**



ダイオキシン類などの有害物質やアスベスト(石綿)類を含んだ粉塵など、人体に有害なものを吸引しない。

***環境汚染・健康障害につながる危険性があります。**

温度の高い(40℃を超える)場所で使用しない。

***火災の原因になります。使用雰囲気温度範囲は 0℃～40℃です。**



湿度の高い場所で使用しない。

***感電・火災・故障の原因になります。雰囲気湿度 80%以下でご使用ください。**

塩素系切削油を吸引しない。

***化学変化により樹脂製部品が割れる恐れがあり、割れた部品などでけがをしたり、部品破損により思わぬ事故が起きる危険性があります。**

吐出し口(排気口)やモータ冷却口、及び吸込み口などは、雑巾やタオル、ウエスなどで塞がない。

***モータの温度上昇により事故が発生する可能性があります。**

注意



動かなくなったり、異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、販売店に必ず点検修理を依頼する。

***感電・漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。**



電源コード先端のアースクリップでアースする。特に、床に水気のある所では必ずアースする。

***アースしないと、感電の危険があります。**



交流 100V 以外で使用しない。

***感電やショートして発火することがあります。**



パイプやホースに吸引物などが詰まったり、フロートが上がって吸引が止まったときは、すぐにスイッチを切る。

***モータの温度上昇により事故が発生する可能性があります。**



塩素系切削油がミストや油煙化した雰囲気内で使用しない。

***樹脂部品に付着すると化学変化が起きて樹脂が割れる恐れがあり、割れた部品などでケガをしたり、部品破損により思わぬ事故が起きる危険性があります。**

浮遊粉塵の多い雰囲気で使用しない。

***モータ冷却口側からモータ内部に浮遊粉塵が入り込み、モータ焼損による火災の原因になります。**



屋外の雨水のかかる場所で使用しない。
*絶縁劣化による感電・漏電・火災・故障になります。



海水や腐食性のある液体や粉体は吸引しない。
*モータ焼損や破損、事故の原因になります。

シンナーなどの溶剤、揮発性・爆発性ガス・粉塵、加工直後の高温の切粉、火のついたタバコの吸い殻、熱を持った物質などは吸引しない。
*爆発・火災、フィルタ焼損の原因になります。

セメント粉、合成樹脂粉など固化するものや、金属粉、カーボン粉など導電性の微粉塵、薬品などを吸引しない。
*感電やショートして発火することがあります。

泡立つものは使用しない。
*泡でフロートが正常に動作しない場合があり、オーバーフローすると排気口より泡があふれて漏電したり、着衣が汚れる危険があります。またモータ故障の原因になります。

本体に衝撃を与えない。
*故障の原因になります。

横倒しでの使用は絶対にしない。
*液体などが吹きこぼれ、感電の危険性があります。

液体の吸引中・吸引後は、本機を横に倒さない。
*モータ焼損や故障、事故の原因になります。



吸込み口に、手や指を入れない。
*ケガの原因になります。



電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
*感電やショートして発火することがあります。



延長コードは、適切なものを選んで使用する。
***延長コードが容量不足な場合、発熱して火災の危険があります。**



電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねない。
***電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。**

電源コードや延長コードは、巻いたままや寄せ集めた状態で使用しない。
***コードが発熱して火災する恐れがあります。必ず伸ばした状態で使用してください。**



電源プラグのほこりなどは、定期的に乾いた布で拭き取る。
***プラグにほこりなどが溜まると、湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。**



電源プラグにピンやゴミを付着させない。
***感電やショートして発火することがあります。**

電源コードに重い物をのせたり、挟み込まない。
***電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。**



使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。
***ケガ、やけど、絶縁劣化により感電や漏電・火災の原因になります。**



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。
***感電やショートして発火することがあります。**



長時間の空運転は避ける。
***故障の原因となります。**

保守・点検の際の注意事項

警告



メンテナンスするときは、防護手袋を着用する。
*ゴミなどで手をケガする危険性があります。



修理技術者以外の方は、分解したり、修理・改造を絶対しない。
*発火したり、異常動作することがあります。

注意



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
*感電やケガする恐れがあります。



フィルタの洗浄によりシンナー液を使用するときは、火気を近づけない。
*火災や事故の危険性があります。



フィルタの洗浄によりシンナー液を使用するときは、十分に喚起する。
*シンナー中毒になる危険性があります。

※本取扱説明書で示す危険、警告、注意の各項目は起こりうる全ての状態を表しているものではありません。

製品の安全性には十分気を配っておりますが、運転する方や保守をされる方も安全に十分な注意と配慮をお願い致します。

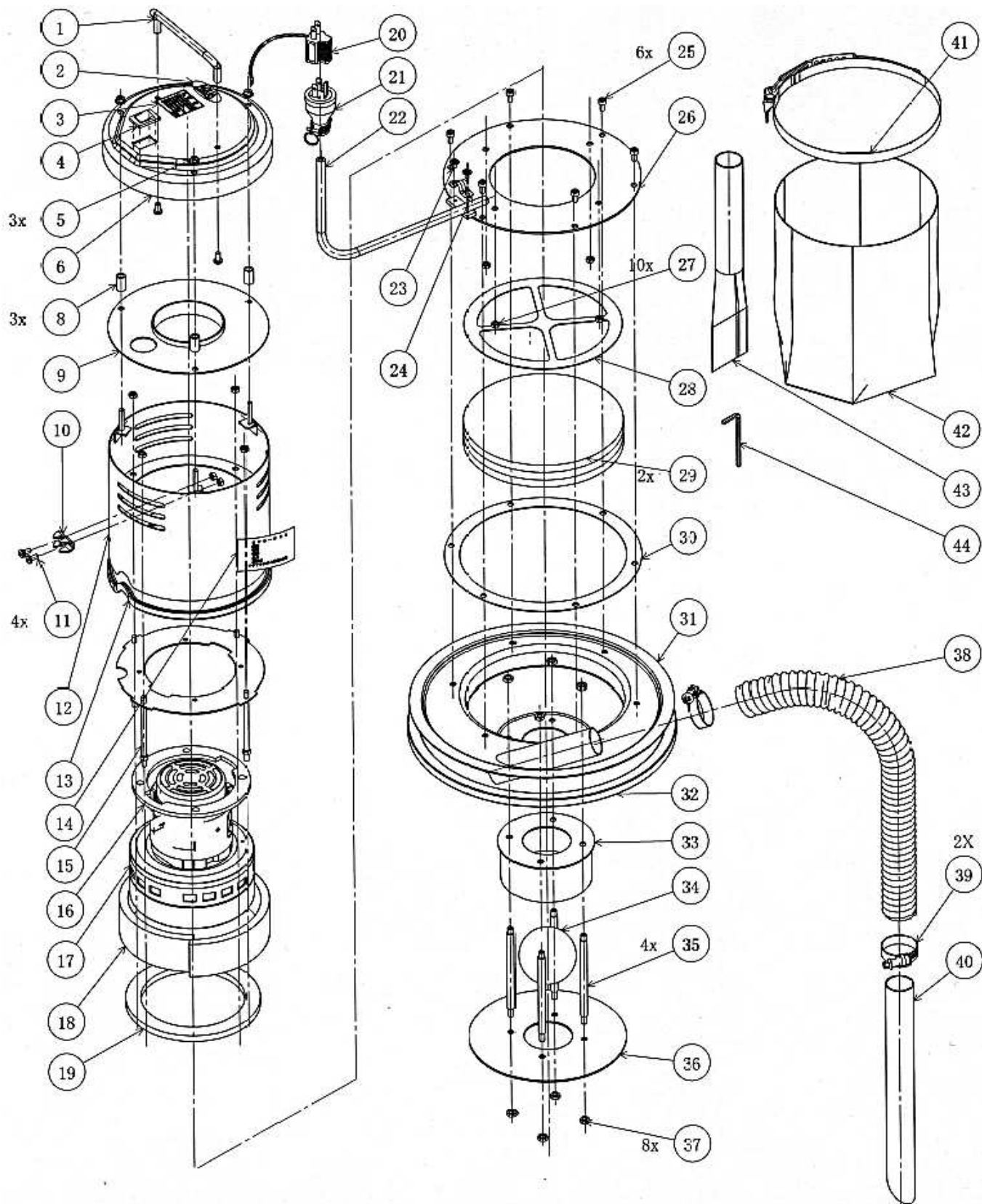
2.仕様

型 式	EVC-550
電 源	100 V
消費電力	1.05 kW
電 流	11 A
最大風量	3.3 m ³ /min
最大真空圧	20.5 KPa
ホ ー ス	内径φ32 × 長さ2m
電源コード	長さ5m(アースクリップ付)
本体寸法	外径φ320 × 高さ400mm
標準質量	9.2 kg

※許容電流 15A 以上の電源回路が必要です。使用される電源回路を確保してください。

※本体の電気回路内には、ヒューズ(15A)が組み込まれています。
ヒューズ切れが懸念される場合は、販売店技術者に相談してください。

3.各部の名称と付属品



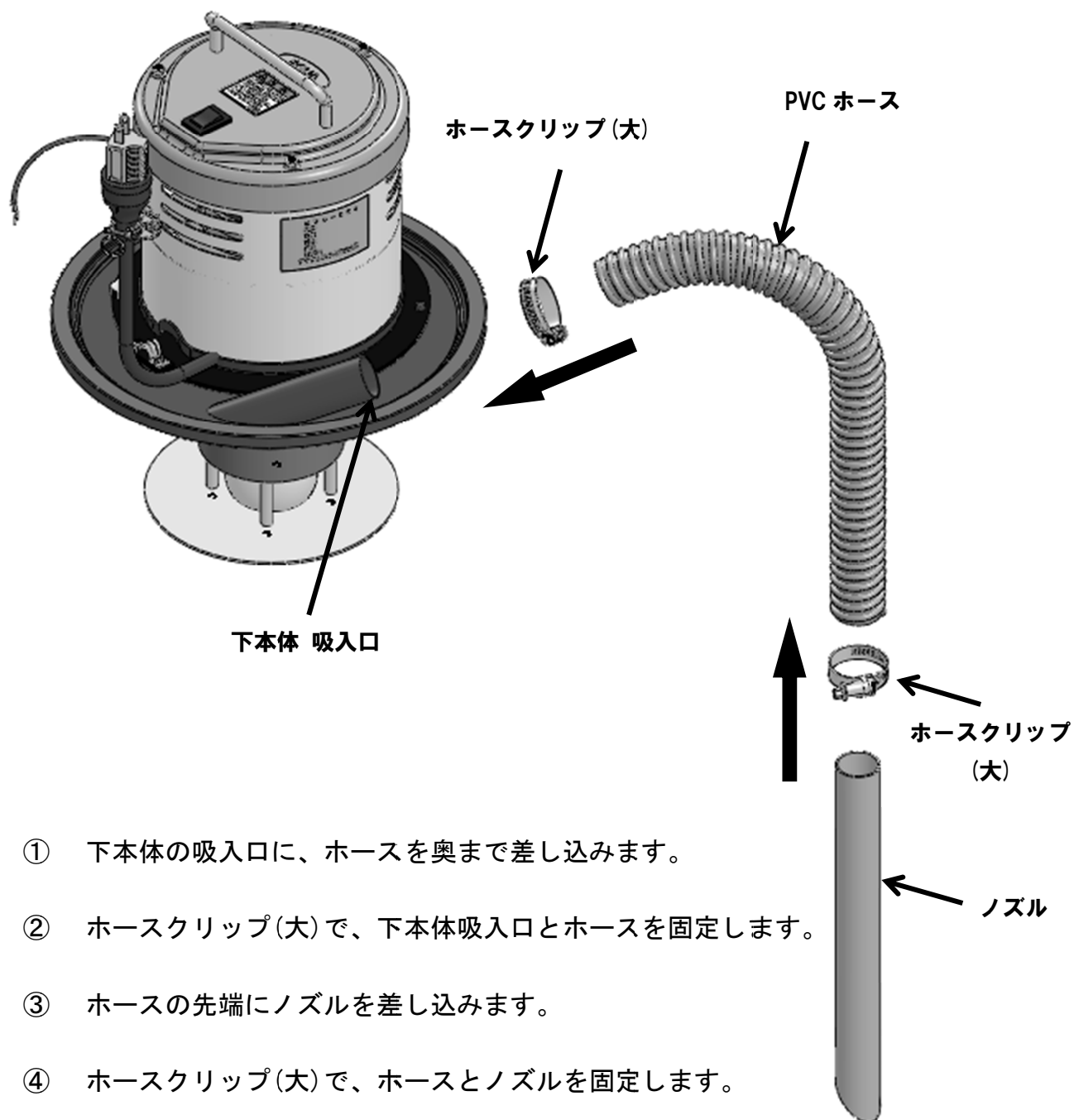
NO.	品名	単品供給	品目コード	図番	材質	個数	備考
1	取手	×	EV9017		SUS304	1	A-1075-4
2	シール AQUA(小判)	×	XF0006		カイレピン	1	
3	メイパソ(ケイコク)	×	KHB0030		カイレピン	1	
4	スイッチ	×	KHB0012	KHB0012	カイレピン	1	
5	フランジナット	×	XB4001		SUS304	3	M5(セレート無)
6	カバー(アッパ)	×	APD0365	APD0365	PC/ABS	1	
8	パイプ	×	APD0366	APD0366	SGP	3	φ10, 5×2
9	ウェッジ	×	YA6002	APD0367	SPHC	1	
10	メッキ 鉄板製ワイヤークリップ	○	EV9023		鉄	1	6mm
11	十字穴付カバー小ネジ	○	XB0061		SUS	4	M5×10
12	カバー	×	YA6003	APD0370	SPHC, S25C	1	
13	トリム	×	EV9021		TPE, A5052	1	62-16-B-5T-15
14	メイパソ(カタシキ セイノウリ)	×	APD0406	APD0406	カイレピン	1	
15	モータステー	×	YA6004	APD0376	SPHC, S25C	1	
16	シールA	×	APD0380	APD0380	CRゴム	1	t=5
17	プロモータ	×	APD0342	APD0342	カイレピン	1	
18	キューボンサイ	×	APD0379	APD0379	U	1	10×45×450
19	シールB	×	APD0381	APD0381	CRゴム	1	t=8
20	アダプタプラグ100V	○	EV9112		カイレピン	1	
21	接地コネクタプラグ	×	EV9019		カイレピン	1	
22	コネクティブタイヤケーブル	×	EV9018		カイレピン	1	5m
23	十字穴付カバー小ネジ	○	GN9021		SUS304	2	M4×8 P1
24	両サドル	○	APD0382	APD0382	FC	1	
25	六角穴付ボルト	○	XB0067		SUS304	6	M5×10
26	プレート	×	YA6001	APD0361	SPHC他	1	
27	六角ナット	×	XB1011		SUS	10	M5
28	フィルタオアエ	○	APD0392	APD0392	SUS304	1	
29	フィルタ(モータ)	○(2枚セット)	APD0393	APD0393	ポリエステル, アクリル	2	
30	ゴムパッキン	○	APD0341	APD0341	CRゴム	1	
31	下本体	×	APD0348	APD0348	SPHC他	1	
32	Vパッキン	○	APD0239	APD0239	NBR	1	
33	ボウスイカバー	○	YA6005	APD0389	SPHC	1	
34	フロントボール	○	APD0394	APD0394	PVC	1	S φ65, 80g
35	ストップ用支柱	○	APD0242	APD0242	SUS304	4	L=105
36	ストップ用プレート	○	AP9567	APD0087	SUS304	1	φ180, t=2
37	六角ナット	○	XB1008		SUS	8	M6
38	ホース32A	○	AP9242		PVC	1	内径φ32 L=2000mm
39	ホースクリップ(大)	○	AP9292		SUS304	2	SGT-2-12 25-40
40	丸型ノズル	○	AP9591	APD0108	A6063	1	外径φ32, 肉厚1.5, L=300mm
41	S型スプリングバンド	○	AP9590	APD0091	SUS	1	幅13mm, φ185.5
42	フィルター	○	OPH091	KX00919	PP(白)	2	
43	角型ノズル	○	AP9592	APD0112	A6063	1	外径φ32, 肉厚1.5, L=305mm
44	六角レンチAW4	○	AP9561		カイレピン	1	

※単品供給できない部品の交換・修理などにつきましては、販売店にお問い合わせください。

4.ご使用方法

1. ホース、ノズル組立方法

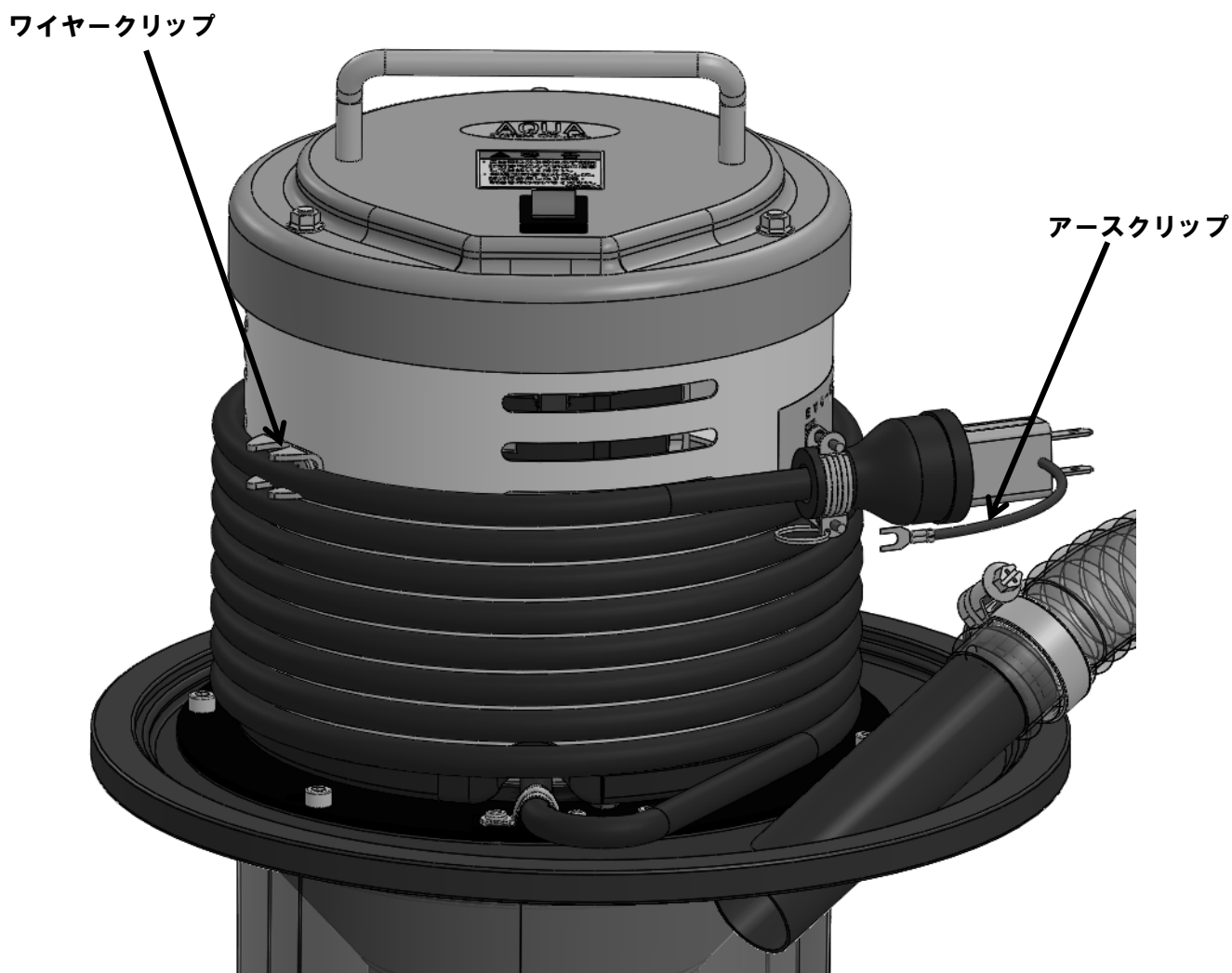
下図の様に組立してください。



- ① 下本体の吸入口に、ホースを奥まで差し込みます。
- ② ホースクリップ(大)で、下本体吸入口とホースを固定します。
- ③ ホースの先端にノズルを差し込みます。
- ④ ホースクリップ(大)で、ホースとノズルを固定します。

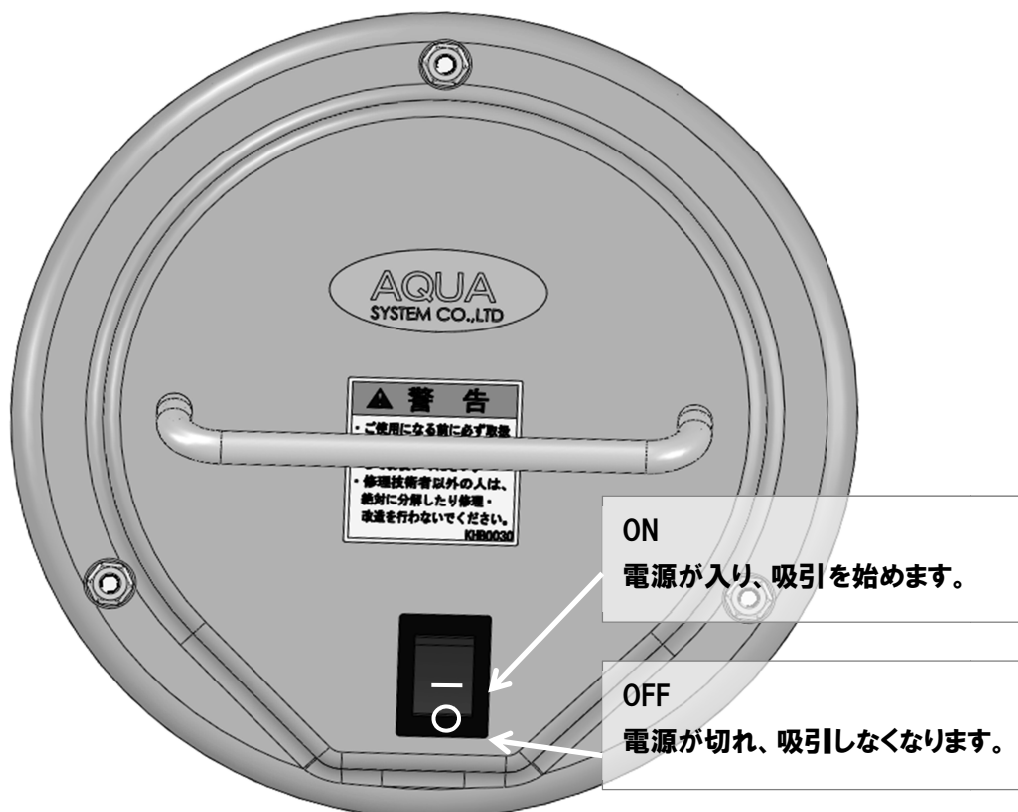
2. 電源コードの接続

- ① 電源プラグを 100V のコンセントへ差し込みます。
- ② コード先端にアースクリップが付いています。
感電事故防止のため、必ずアースを接地してください。
- ③ ご使用後は、感電事故防止のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源コードは、本体にねじれの無い様にきっちりと巻きつけ、先端部をワイヤークリップで固定してください。



3. スイッチ

本体上部のスイッチで、吸引を開始／停止します。



4. フィルタ（モータ）

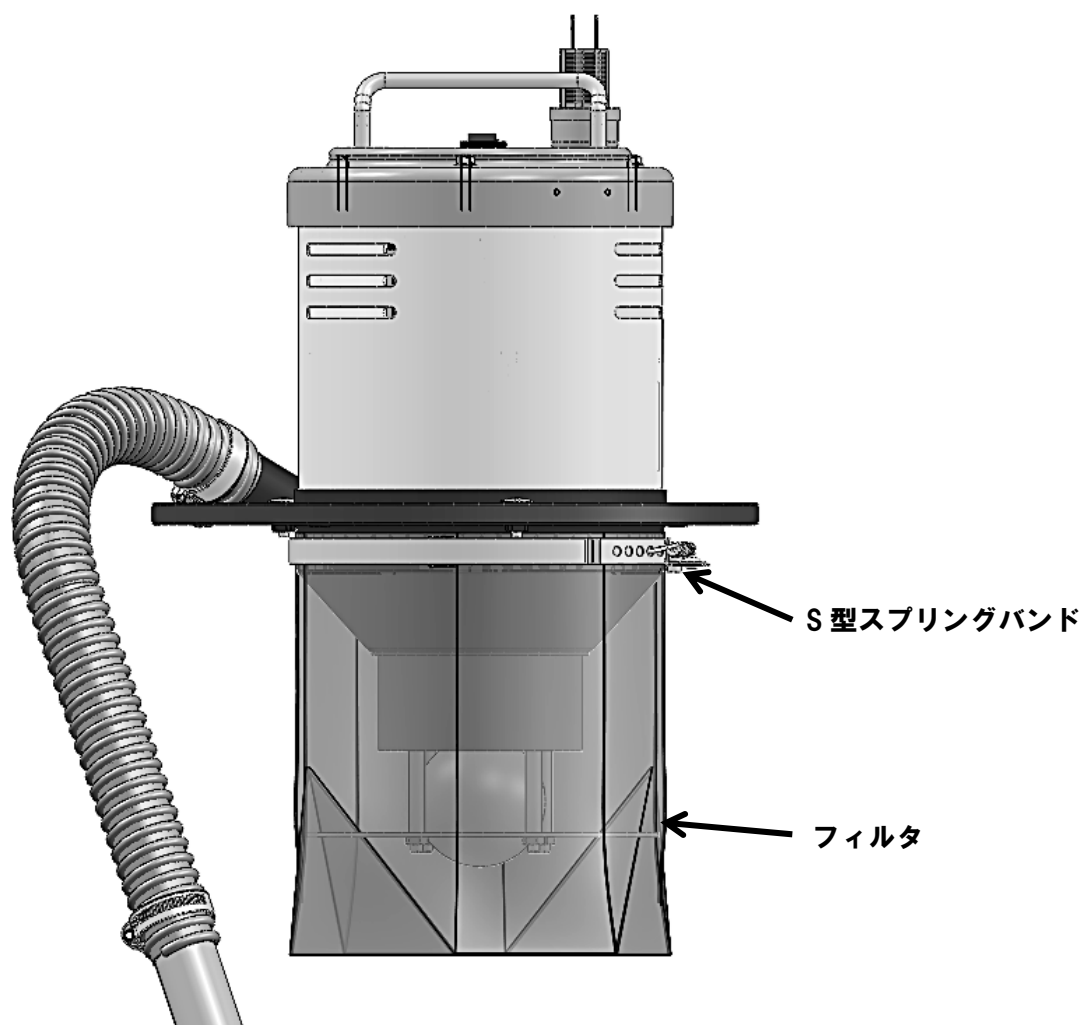
- ① フィルタ（モータ）が湿っているときは、外部に水滴（油滴）が出る場合があります。この様なときは、次の様な処置をしてください。
【水滴が出たとき】
何も吸引させず、数分間の空運転を行って、フィルタ（モータ）を乾燥させてください。
【油滴が出たとき】
フィルタ（モータ）を取り外し、洗い油などで洗った後、十分に乾燥させてからクリーナーに装着してください。
- ② フィルタ（モータ）は水洗いできます。
フィルタ（モータ）の目詰まりがひどい場合は、クリーナーから取り外して水洗いしてください。
水洗いした後 再びクリーナーに装着し、数分間の空運転を行います。そうすることでフィルタ（モータ）が乾き、使用可能な状態になります。

※なお、フィルタの着脱方法は、15 頁 5-1 項の『フィルタの取り外し方』を参照してください。

《注意》

・ 粉塵を回収するときは、必ず標準付属品のフィルタを装着してください。

(液体を回収するときは、必ずフィルタを外してください。)



5. フロートボール(オーバーフロー防止装置)

- ① タンク内に一定以上の水や汚泥などが溜まると、フロートボールが上昇し、吸引ができなくなります。
- ② 吸引できないときは、電源スイッチを切って、タンク内の水や汚泥などを捨ててください

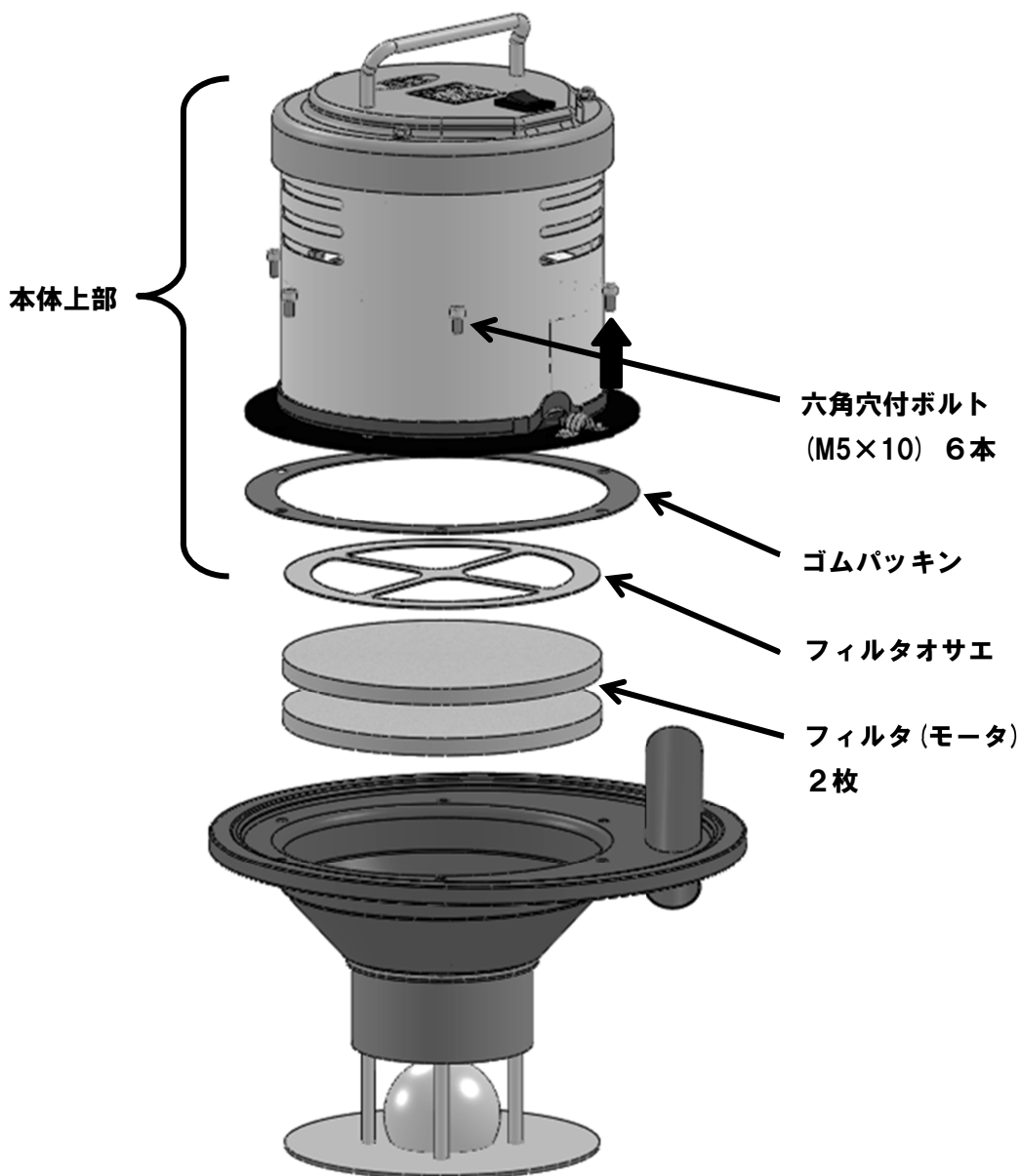
5.お手入れ

吸込みが悪くなった時、またはモーター一部から異音がするなどした場合には、フィルタの点検・交換をお願いします。

(尚、六角穴付ボルトを脱着する際は、付属の六角レンチ AW4 をご利用ください。)

1. フィルタ (モータ) の取り外し方

下図、6ヶ所のボルトを外すと、本体上部を取り外すことができます。
フィルタ (モータ) の取り外し、汚れチェック、フィルタ (モータ) の洗浄の際に取り外しが必要です。



2. フィルタ（モータ）の取り付け方

下部カバーにある6ヶ所の穴に、ゴムパッキンの穴を合わせ、ボルト6本で固定します。（前頁の図を参照してください。）

3. お手入れ

ホースやクリーナー外装が汚れたら、中性洗剤のうすめ液に浸した雑巾や、ウエスを固く絞って拭いてください。

※メンテナンスする時には、必ず防護手袋を装着してください。

6. 保守・点検

安全にご使用いただくために、運転前には必ず下記項目の点検をお願いします。点検で不具合が見つかったときには、速やかに処置を施してください。

点検項目	処置
電源コードは傷んだり、変形していませんか？	電源コードの交換が必要です。 販売店に修理をご依頼ください。
差込プラグに変形やガタはありませんか？	電源コードの交換が必要です。 販売店に修理をご依頼ください。
アースクリップはガタなどが無く正常に機能していますか？	電源コードの交換が必要です。 販売店に修理をご依頼ください。
スイッチ保護ゴムに破れはありませんか？	スイッチの交換が必要です。 販売店に修理をご依頼ください。
ホースは変形したり破れたりしていませんか？	ホースを交換してください。
ホースにゴミが詰まっていますか？	ゴミを取り除いてください。
フィルタ（モータ）は正しくセットさせていますか？	正しくセットしてください。
フィルタ（モータ）に破れはありませんか？	フィルタ（モータ）を交換してください。
フィルタ（モータ）が目詰まりしていませんか？	フィルタ（モータ）を掃除してください。
ペール缶は変形していませんか？	ペール缶の交換が必要です。
ペール缶内にゴミや液体が溜まっていますか？	ゴミや液体を処理してください。
本体上部は正しく装着していますか？	正しくセットしてください。
各部のボルト、ナットは緩んでいませんか？	増し締めしてください。
モーター回転音に異常はありませんか？	販売店に点検をご依頼ください。
変な音や、匂いがしませんか？	販売店に点検をご依頼ください。
電源のON/OFFは問題なく出来ますか？	ヒューズが切れている可能性があります。 販売店に修理をご依頼ください。

※分解修理が必要な場合や、部品の交換・点検が必要な場合は、販売店に点検・修理をご依頼ください。

修理技術者以外の方は、絶対に分解や修理をしないでください。

7.保証・アフターサービスについて

この度はアクアシステム製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。製品管理には万全を期しておりますが、万一、本製品が故障した場合の保証範囲は、次の通りです。

1. 修理について

補修用パーツの発注および修理などのお問い合わせは、品番・製造番号・ご購入日などをご確認のうえ、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

2. 下記の場合、ご購入の日から 12 か月以内であれば、無償にて修理・調整を行います。

取扱説明書に沿った保守点検を実施したにもかかわらず、保証期間内に当社の設計・組立の不備により、故障または破損が発生した場合。

※ただし、故障または破損に起因する種々の出費およびその他の損害に関する保証はいたしかねます。

※また、無償修理時、故障原因に関係なく消耗し、交換が必要だと判断した部品については、有償とさせていただきます。

3. なお、期間外や7-5 項の免責範囲に記載の事項については有償扱いとなります。また、当社純正部品以外を使用した場合のクレーム及び修理のご依頼などは、お受けできないばかりでなく、すべての保証の対象から外れる場合があります。(他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。)

4. いずれの場合でも、サービスセンターへの送料、また返送費はお客様負担となります。

5. 免責範囲(保証期間内でも次に該当する場合は有償となります)

①誤った取扱い(取扱説明書と異なるご使用)により生じた故障。

②弊社以外で修理・分解・改造されたことによる故障。

③保管上の不備や手入れの不備による故障。

④購入年月日を証明する書類がない場合(納品書・請求書等)

⑤使用頻度が著しく多い場合の部品の消耗。

保証障期間中の修理など、アフターサービスについてのご不明な場合は、下記までお問い合わせください。

《お問い合わせ》
アクアシステム株式会社
【修理受付係】 Tel 0749-23-9123

AQUA
SYSTEM CO.,LTD.

アクアシステム株式会社

〒522-0081

滋賀県彦根市京町 1-3-1 K1 ビル 201

Tel 0749-23-9123 Fax 0749-23-9122